

保護者の皆さまへ

新型コロナウイルスの影響により、いつもとは異なる大変な状況を過ごされていることと思います。

そのような中で、活動にご理解・ご協力くださりありがとうございます。

ガールスカウトは、お子さまにとって、家庭や学校に次ぐ、もうひとつの居場所です。休校や日常生活で制限がある中、年齢を越えた学校外の友達や大人とつながることができる、少しでもほっとできる居場所となっています。

ガールスカウトでは、集会对面で行えない期間でも、お子さまがご家庭で取り組めたり、人や社会とのつながる機会をご提供したいと考えています。その一つとして、現在、STAY HOME バッジに取り組んでいます。

このバッジでは、リーダーやお友達と手紙のやり取りをしたり、インターネットを活用したプログラムに参加する、という内容があります。このような取り組みには、ご家庭のご理解とご協力が欠かせません。どうぞお子さまの活動にご支援をよろしくお願いいたします。全国のガールスカウトの取り組みは、インターネット上で、ハッシュタグ（#STAYHOME #ガールスカウト）を検索するとご覧いただけます。

最後に、不確かな状況が続き、様々な制限が日常生活にございますが、大人も子どもも、安全に過ごしつつ、今できることを楽しみ、力をつけ、人の役に立てるようご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



STAY HOME バッジ 安全・ジェンダー版について



STAY HOME バッジ公開から1カ月が経ち、新しいワークシートを作成しました。

今回は、お子さま自身の持っている可能性をより伸ばすための視点や心の安心や安全につながるものです。

これは、「SDGs バッジ」の取り組みのひとつでもある「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げています。

- 持続可能な開発目標（SDGs）とは
2015年9月に、国連本部で開催された国連サミットで採択されました。2016年～2030年までの国際社会共通の17の目標です。ガールスカウトは、その中でも「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」を主軸に取り組んでいます。
- ジェンダーとは
社会的・文化的な性差。生物学的な性差と対比して使われます。ジェンダーバイアスは、社会的・文化的な性差別あるいは、性的偏見のこと。

ワークシート 安全・ジェンダー版について

一見、子どもたちは男女平等の環境で生活しているように思われますが、まだまだ「女の子だから～」「男の子だから～」と性別による固定的役割や、理想像が日常の中に多くあります。

ジェンダー平等を実現していくためには、大人である私たちの中に根深く残る、ジェンダーによる固定観念に注意しながら、少女たちが可能性を伸ばせるよう言葉がけに注意していく必要があります。

ワークシートの取り組みにあたって

- ガールスカウトの少女だけでなく、性別にかかわらず広く一般にもお使いいただけます。兄弟も一緒に取り組むことができます。
- 年代は、テンダーフット部門からレンジャー部門、大人でも利用可能です。
- 低年齢のお子さんにとっては、ワークシートに文字が多いため、大人の言葉がけが必要です。
- テンダーフット部門では、「きせかえ」の遊びを通して、自分の未来を想像するという活動もできます。

大切な視点

今回のワークシートは、以下の点を大切にしています。

1. 子どもたちの心のケアとなるようなもの



慣れない生活、たくさんの情報で大人も子どもも疲れています。TVを消して過ごしたり、自分の気持ちに向き合う、その気持ちを表現することで、少しホッとすることもあります。

2. 子どもたちの安全につながるようなもの



暴力の被害にあうかどうかは予測できません。家で過ごすことが多くなり、DV や家庭内暴力が増えることも懸念されています。もしも、相談できる人を知っていたら、少女自身で助けを求めることができるかもしれません。「あの子は大丈夫。」と大人が決めてしまわずに、学校、地域、家庭などで、なんかイヤだな、モヤモヤするなという時には、相談していいということを教える機会を作りましょう。また、友達同士の相談ごとも、安全じゃないと感じた時には大人に相談していいことを伝えましょう。

3. ジェンダーの固定観念にとらわれず、生活できるようなもの



「おうちの仕事」では、家庭の中で誰かが役割を担っているものを例にあげています。ご家庭で、それぞれ役割は異なると思いますが、家にいることの多いこの時期だからこそ、家族みんなで考えてみる、話し合ってみるのもいいと思います。ご家庭それぞれの考え方があり過ぎていることなので、「お母さんばかり料理するのはおかしい!」「お父さんばかり買い物するのはおかしい!」などと決めつけるのではなく、「誰がやってもよい」ということを前提に考えてみる・話し合ってみることが大切です。それにより、役割を担っている人への感謝も生まれます。決して、ご家庭のあり方を否定することのないようご注意ください。

4. ジェンダーの固定観念にとらわれず、未来を描けるようになるもの



「未来の自分を想像してみよう」では、性別にとらわれずに自分のなりたい姿を想像できるようにしています。大人の固定観念で、「女の子だから、この職業は適さない」「男の子っぽい」などの言葉をかけないようにご注意ください。

おすすめ資料

“その人らしさ”を応援できる社会のために
～幼児期のジェンダーガイドブック～



制作：幼児期のジェンダーガイドブック制作プロジェクト
<http://teamsustainability.net/files/genderbook.pdf>

ガールスカウトの子どもの保護に関する方針

子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドラインをダウンロードする場合は、会員証後ろに貼り付けている最新の ID とパスワードが必要です。



<https://www.girlscout.or.jp/members/all/seijin/cpp/>

女子高校生が感じるジェンダーバイアス 「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書 2019



https://www.girlscout.or.jp/activities/project/research/pdf/gsj_genderreport2019.pdf

ご不明な点がございましたらリーダーにご相談ください。

第 _____ 団 _____ 部門
リーダー _____

連絡先 _____